

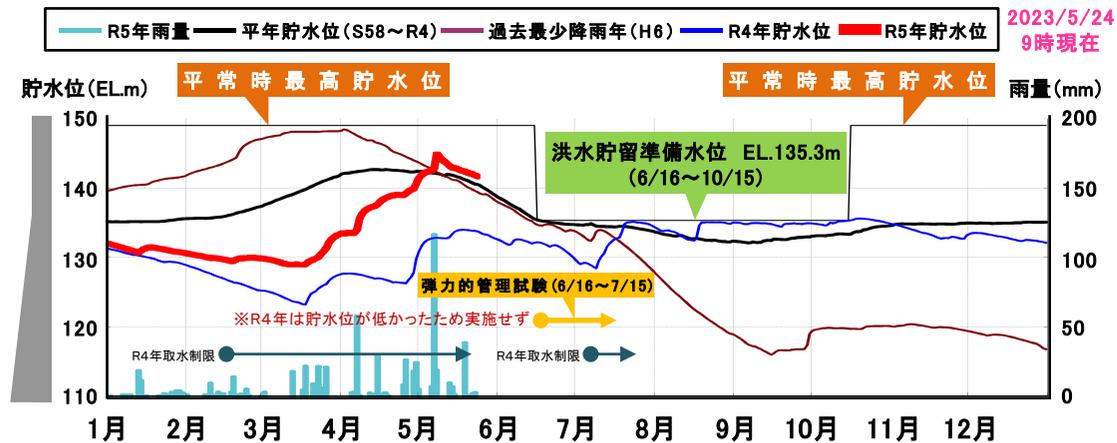
今月の一庫ダム



●雨量、貯水池状況、流況

4月の月雨量(ダム流域平均雨量)は176.6mmで、平年111.8mmに対し約158%の雨量でした。
一庫ダムの下流河川の様子は、利水基準地点虫生(むしゅう)へ3日間、約3万m³を補給しました。
5月26日現在、貯水率は約69.3%です。

一庫ダムの主な年間貯水位曲線と令和5年の日雨量



Topics

一庫ダムの役割と操作

洪水期に向けてダム貯水位の低下操作を開始
令和4年11月28日から令和5年4月11日0時までの自主節水や降雨により貯水位が順調に回復しました。今年は5月7日～8日の出水後からダム貯水位の低下操作を開始しています。

「高水管理」について

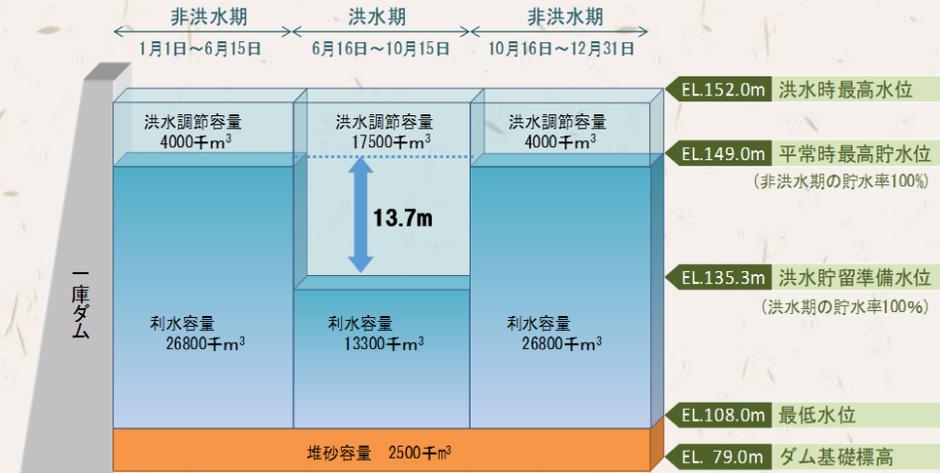
一庫ダムの大きな役割の一つが「洪水調節」です。洪水調節とは、台風、豪雨などによるダム下流域の洪水被害を防止・軽減するため、ダムに流れ込む水の量をため込み、ダムから流す水の量を減らすことにより下流河川の水位を低下させる操作のことです。

このような洪水被害を防止・軽減するために河川水を管理することを「高水(たかみず)管理」といいます。

1. 洪水調節イメージ図



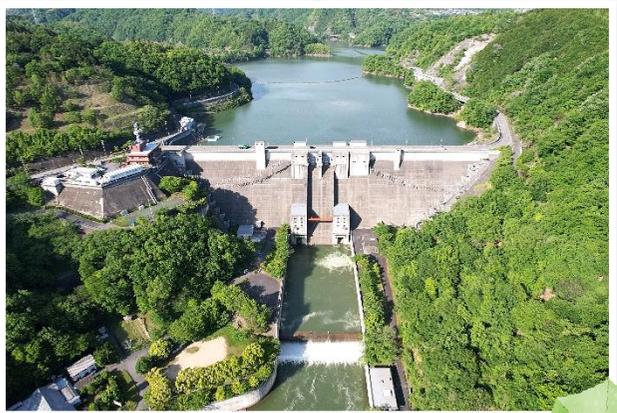
2. ダム貯水池の運用イメージ図



そのために、4月1日～6月15日にかけて「フローダウン」と称して、ダムに流れ込む流量に日々の低下の割合に応じた放流量を上乗せして水位低下を実施しています。

一庫ダムでは本年度も徐々に水位を低下させる操作を行って、大雨に備えます。

貯水池の状況 (R5.5.10 撮影)
貯水位 EL. 144.00m
貯水率 79.5%



ツイッターでも情報やお知らせをいち早く発信しています!

@jwa_hitokura

ワンポイント豆知識

洪水調節容量の確保に仕方には一庫ダムのような「洪水期制限水位方式」と「オールサーチャージ水位方式」があります。

洪水期制限水位方式

洪水期に洪水調節のための容量を大きく確保するために、洪水期に限って平常時最高水位よりも水位を低下させる運用方式です。

オールサーチャージ水位方式

一年を通して洪水調節する容量を一定量確保する運用方式です。



安全祈願

4月25日、管理事業に関わるすべての人の安全祈願のため、地元の氏神様である多田神社へお参りしました。多田神社は、源満仲、後の多田源氏はじめ五公をお祀りし、武運長久、家運隆昌、勝運厄除けの守護神として崇拝されている神社です。お祓いを受け、無事故、無災害を参加者一同で祈願し、帰る際にお守り、お札、授与品をいただきました。今年もまた、労働災害ゼロを目指し、安全対策に万全を期してまいります。



多田神社



平野鉱泉工場跡

地域なるほど！情報局

授与品の中にあつたのは、川西市が発祥の地である三ツ矢サイダー。「三ツ矢」という名前の由来は、平安時代までさかのぼります。源満仲(ミナモトノミツナカ)という武将がお城をつくるうとして神社に祈りをささげたところ、「矢の落ちた所につくりなさい」とお告げあり、天に向かって矢を放つと、多田沼「九頭の滝(クスノリユウ)」に命中しているのが発見されました。そこで、満仲はここに城をかまえ、そのときに矢を探しあてた男には「三ツ矢」という姓と三本の矢羽の紋が与えられました。また、あるとき鷹狩にでた満仲は、近くの谷の湧き水で鷹が足の傷をなおして飛び立つのを目撃し、湧き水が授霊泉と知ります。これが多田村平野の天然鉱泉であり、明治時代には「平野水」という鉱泉水として認知され、その後、この伝承にちなんだ名称を取り入れた「三ツ矢平野水」と名付けられ発売されたのが三ツ矢サイダーの出発点です。

高校生との水耕栽培 2ndシーズン始動！

毎年、一庫ダムで水質浄化の効果を目指して行っている、ダム湖上での空芯菜の水耕栽培。令和5年度は、昨年度に引き続き、猪名川町で農業の勉強をされている猪名川甲英高等学院の学生の皆さんとともに、栽培を開始しました。5月9日(火)に種まきを行い、6月上旬に予定している水耕栽培開始に向けて、現在、学校内にて生育中です。これからの成長に期待です！



空芯菜の種植え中 (連携作業はさすが！)

種植え後のポット (成長に期待!!)

職員 の 異 動

ひろせ さなえ
廣瀬 早苗 (管理班 所長代理)・転入



4月1日付で所長代理として赴任いたしました廣瀬と申します。一庫ダムでの勤務は2度目となりますが、操作方法等、以前とは変わっているところもありますので、新たな気持ちで適切なダム管理に努めてまいります。よろしくお願いたします。

しもだ はるゆき
霜田 晴行 (管理班 防災・貯水池維持管理担当)・転入



4月1日付で赴任しました防災・貯水池維持管理担当の霜田と申します。近年の異常豪雨や小雨などに対して、これまでのダム管理経験を生かした確実な高水管理・低水管理に努めてまいりますのでよろしくお願いたします。

うめやま よしかつ
梅山 善勝 (管理班 機械担当)・転入



4月から約20年ぶりに一庫ダム勤務となった梅山です。過去の在籍と他ダムで経験したものを生かし、2度目の一庫ダム管理に努めてまいります。

はら ひろあき
原 博昭 (管理班 電気通信担当)・転入



4月より赴任しました電気通信担当の原です。一庫ダムの特別高圧設備や水力発電設備などの設備の維持管理を中心に適切なダム管理を行ってきたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。

つげ たくと
柘植 琢人 (総務班)・転入



4月1日付で赴任しました総務班の柘植と申します。新規採用職員ならではの新鮮な目線です。一庫ダムの情報発信を行っていきたく思います。地域に寄り添ったダム事業を展開できるよう精進してまいりますのでよろしくお願いたします。

おくはら やすお
奥原 康雄 (継続雇用従事者)・転入



4月1日から継続雇用従事者として勤務させていただくことになった奥原と申します。より良い一庫ダム管理の一助となるよう努力したいと思っております。よろしくお願いたします。

機構創立記念日ダムライトアップ



暗闇に浮かぶ一庫ダム



管理開始40年記念ロゴマーク付 オリジナルダムカード

40年記念の取り組み
管理開始40年ロゴ入り オリジナルダムカード
一庫ダムでは管理開始40年記念の取り組みを始めます。第一弾として、管理開始40年ロゴマーク入りオリジナルダムカード(春版)を4月24日(月)から限定100枚で配布したところ、5月2日(火)に配布終了となりました。たくさんの方に越えたいいただき、感謝申し上げます。現在、次の企画を準備しておりますので、お楽しみに。

5月1日(月) 19時から21時まで

機構創立記念日ダムライトアップを実施しました。

当日は少し肌寒い夜でしたが、暗闇に浮かぶ一庫ダムと鯉のぼりのコラボレーションを多くの方に楽しんでいただけました。

ダム見学・インフォメーションセンター再開!!

令和5年5月8日(月)、新型コロナウイルス感染症の感染経路上の位置づけが5類感染症に移行されたことに合わせて、ダム見学と管理所横のインフォメーションセンターを再開しました。



インフォメーション入口の展示

ダム見学については、5月23日に再開後初めての見学者の方が来られ、ダム内の監査廊を歩き、足がすくむ高さの赤橋からの景色や大きく迫力のある機械設備などをご覧いただきました。

ダム見学について詳しくはこちら！



魚の住みやすい川へ

Sフラッシュ放流・土砂還元の実施について

一庫ダムでは、ダム下流の川を「より魚が住みやすい環境」にするため、2003年度より、一時的にダムからの放流量を増やし、川石についた藻類の剥離・更新を促す「フラッシュ放流」を行っています。また、ダムにより減少したダム下流の川の中の土砂を補つため、このフラッシュ放流に併せて、ダム上流の川から採取した土砂を流す「土砂還元」を行っています。今年度は、5月30日(火)9時30分から16時30分まで実施予定です。



●：水位観測所
●：土砂投入場所

ワンポイント豆知識

アユの居つく場所ってどんなところ？

アユは石礫(せきれき)の表面に付着したアルガルとした藍藻(らんそう)を食べます。水温が極端に低くなく、川床の底質は石と砂が適度な隙間を保ち、川が水草などの大型の藻類におおわれていない、川底の石礫が見える程度に澄んでいる川を住みかに入ります。

※ 石礫：小さい石 藍藻：光合成を行う単細胞藻類



写真提供：(社)淡水生物研究所



After

Before

よどみの解消

河床の造成

当日は、ダムからの放流量の増加に伴い、川の水位が上昇します。川の水位が上昇する前には、スプーンによる注意喚起、河川巡視を行いますので、安全のため水辺から離れていただきますよう、よろしくお願いたします。

独立行政法人 水資源機構
一庫ダム管理所

〒666-0153
兵庫県川西市一庫字唐松4番地の1

TEL:072-794-6671

FAX:072-794-1908



一庫ダムHP

